

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和3年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月))

施設名	秋川溪谷 戸倉体験研修センター	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	314	264	84.1%	
	延べ利用者数 (人)	16,700	18,126	108.5%	
	事業開 催回数	必須事業：宿泊 (回)	60	44	73.3%
		自主事業：体験 (回)	55	50	90.9%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	21,990,000	21,990,000	100.0%
		利用料金収入(売上) (円)	12,363,333	5,341,900	43.2%
		自主事業(体験飲食等)収入 (円)	11,259,119	8,379,024	74.4%
		その他の収入 (円)	0	10,066,010	-
	収入計 (円) …①		45,612,452	45,776,934	100.4%
	支出	人件費 (円)	21,850,000	22,367,488	102.4%
		維持管理経費 (円)	17,555,400	12,444,681	70.9%
		自主事業関係経費 (円)	人件費に含む		-
		その他の支出 (円)	4,000,000	2,991,878	74.8%
	支出計 (円) …②		43,405,400	37,804,047	87.1%
	収支 (①-②) (円) …③		2,207,052	7,972,887	361.2%
諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-	
総収支 (③-④) (円)		2,207,052	7,972,887	361.2%	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】                  開館日数：264日                  利用者数：10,550人                  (研修室利用者数：3,593人)                  (見学等利用者数：3,983人)                  延べ利用者数：18,126人                  ※臨時休業期間 57日</p>	<p>【事業の実施状況について】                  新型コロナの感染拡大防止の観点から、57日間の臨時休業を行った。                  夏から秋までにかけては、各種コロナガイドラインを徹底した上で営業したが、体験利用件数が増加したとともに、ロケ利用の宣伝による研修室の貸出件数も増加した。</p>	<p>【収支状況について】                  臨時休業やコロナ禍の集団行動に対する懸念などから、宿泊やグループでの飲食などといった団体利用のキャンセルが相次ぎ、当初の売上目標は達成できなかった。                  継続した地域雇用を確保する観点から、主軸スタッフ及びパートタイマーの給与をアップし、労働意欲に繋げた。</p>
--	--	--

### 所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】                  新型コロナの感染拡大防止の観点から、4月から6月までの57日間を臨時休業とし、以降は感染拡大防止対策を徹底して営業した。                  開館日数は、前年度から66日増加したこともあり、延べ利用者数が18,126人(前年比172.5%)と大幅に増加した。</p>	<p>【事業の実施状況について】                  新型コロナの影響で体験や研修を目的に施設予約をしていた団体利用のキャンセルが多くあったが、東京都のロケ地案内サイト「東京ロケーションボックス」に登録したことで、ロケ利用の需要が増加した。</p>	<p>【収支状況について】                  総収支は7,973千円であり、前年度(△318千円)との比較で大幅な増収となっているが、市の公共施設安定運営補償金等の営業外収益があったことが要因である。</p>
--	---	--

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	13～15人 人員配置計画、実地、出勤簿	13人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	92% 人員配置計画	92% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

### ※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

#### 指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

新型コロナの感染拡大防止の観点から、4月25日から6月20日までの期間を臨時休業とした。営業再開後も、コロナ禍での集団行動を自粛し、合宿や企業研修等といった団体利用の予約キャンセルが相次いだ。今年度の施設利用者数は、延べ人数18,126人と、昨年度から7,619名（前年比172.5%）の増加となった。

団体利用者の大幅減により、売上も大幅な減少となったが、新型コロナ感染症対策ガイドラインの遵守・対策・対応を徹底し、利用者と相互に感染拡大防止に努めたことで、売上高5,039千円の増収（前年度比16.4%増）となった。

飲食については、施設のロケ利用が増加したことから、ロケ弁当やセルフメニュー丼物などの専用食事を販売し、飲食売上の増加につなげた。また、レストランのランチ営業については、夏メニューの選択肢を多くすることで、利用者の好評を得た。

体験学習では、秋川流域ジオ情報室のスタッフと綿密に連携することで、周辺地域の歴史や地質を体感できるようなプログラムを提供することができ、大変好評であったと評価している。

今年度は、昨年度以上に行政と連携・協力することで、利用者個々のニーズに寄り添った柔軟な対応ができ、更なる利用者へのサービス向上に努めることができた。

#### 所管課による所見（指摘事項など）

新型コロナの影響により、臨時休業や時間短縮営業を余儀なくされたが、徹底した新型コロナの感染拡大防止対策を講じての事業運営に努めた。

本施設は、主な目的が合宿や企業研修であるため、新型コロナの影響により利用予約のキャンセルも多かったが、延べ利用者数は18,126人（前年比172.5%）と大幅増となった。これは、東京都のロケ地利用案内サイトへ登録するなど、新たな利用客層獲得に取り組んだことが要因であり、コロナ禍でも新規利用者の獲得に努めていることは評価できる。

また、飲食部門では、需要に合った商品を販売することで増収及び利用者のサービス向上に取り組んでいる。今後も利用者のサービス向上を図りながら、健全な事業運営に努めてもらいたい。